

LIVING in USA

米国の住まいを豊かにするページ：住居から考察するNYライフスタイル



五番街のワンルームマンション

米国では、日本のように名前を記載した表札というものがない代わりに、市街地、郊外を問わず、建物、住宅には通りに面して住所の番地の番号が掲示されている。郊外に知人の家を訪ねていてもその番号を頼りに通りを進んでいけばピンポイントでその住宅にたどり着ける。その住宅の壁やドアに、アドレス・プレートという鉄製の表札を住宅に取り付けてみると、家の雰囲気やグレードが上がって洒落にみえる。住宅正面玄関わきの壁などに取り付けるタイプの番地表札は、番地の番号とストリート名を特注で製造してくれる。できあがりまでに2~3週間。写真の商品は49ドル。商品名：Fitzwilliams 2-line Wall Address Plaque \$49 詳細は www.wayfair.com

不動産トレンド

今回は不動産とは直接には関係ないのですが、アメリカと日本の習慣の違いから、賃貸、売買のいずれも予想しない出費がかかる電気ガス水道など、所謂光熱費のお話です。日本での水道光熱費の平均値は家族4人で2万5千円程度というデータが出ています。

メトロポリタンエリアでは冷房暖房を使用しない季節は150ドル以下で済むのですが、冬期間は暖房費が時給は一月500ドルを超えることがあり、驚きとともに苦情を待ちこまれるテナント、

適温度が保たれるという点になり、日本での家の構造や暖房システムとかなり異なっており、特に1軒家の場合は、居住空間部分が多く、快適温度に保つには相当のエネルギーが必要で、

どこに行っても快適温度な空間に保つ、というのが親としての努め？という習慣があるようです。ある意味で寒冷地とも言えるトライステートエリアにお住まいの場合は、当初よりこの光熱費に関してはある程度の出費を覚悟されたいと思います。

トライステートエリアの光熱費事情

このため、12月から2月の間は特に500~600ドル程度の光熱費となるところが多いようです。アメリカ人にとって、この光熱費はとも節約の対象ではなく、特にお子様を育てる環境として、

五番街の38丁目界隈に建つ高層コンドミニアム54階の一室。スタジオ形式のワンルームタイプで、南側の窓からはエンパイアステートビルが目に見え、東側はイーストリバーを、遙か南に目をやればニューヨーク湾に立つ自由の女神までを見渡せる。夜も、まばゆいばかりの夜景を部屋の窓から見る事ができる。

地上では、五番街を挟んだ建物正面に老舗百貨店のロード&テイラー。

そんな大都会のど真ん中でも、週末は意外と静か。近くにはパブリックライブラリーとブライアントパークがあり、日系食料品店やベーカリー、書店などが徒歩10分圏内にあり、日常生活の買い物にはまったく困らない。

写真の部屋の販売価格は89万9000ドル。ジム、プール、サウナが建物内にあり、室内に洗濯機と乾燥機が完備。ビジネス・センター、視聴覚室、ラウンジ、サンデッキを利用できる。住んでよし、投資に良しの極上の一室といえそうだ。

問い合わせは電話212・758・8118
または917・386・4992、Eメール
shirakawa@frimoto.com
(写真提供・古本不動産)

おうちの事なら何でも相談。リダックにしたらいいのに。



契約には何が必要なの？

アメリカにも敷金・礼金はあるのかな？

短期で住める部屋ってある？

物件選びのポイントは何？

どんな物件があるの？

契約は難しいの？



充実の全米ネットワーク！
日本語で、お問い合わせください。
www.redacinc.com

マンハッタン 866-622-2228
ニュージャージー 201-944-5700
シカゴ 847-758-1700
ロサンゼルス 310-328-2800

ウェストチェスター 914-921-2525
ボストン 617-566-4555
ダラス 972-905-2119
サービスアパート 212-379-5005

コネチカット 203-661-6404
デトロイト 248-305-8913
サンノゼ 408-244-5500
メキシコ 01-462-104-5118